

平成27年度学校評価実施報告書

次のとおり学校評価を実施しましたので報告します。

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
生徒の自己発見を促し、多様な柔軟な教育活動を展開する中で、生徒が自主的・主体的となる教育活動を推進し、生徒の思考力・判断力・表現力を育みます。	<p>ア 多様な選択科目の特色を生かし、また生徒の主体的学習活動を積極的に取り入れることにより、生徒の気づきを引き出し自ら求め学ぶ力を育成する。</p> <p>イ 体験・発表を重視し表現力、判断力、思考力を育てる総合選択科目内容の充実を図る。</p> <p>ウ 生徒会活動、部活動の活性化を図る。</p>	<p>ア 多様な選択科目において生徒の主体的学習を積極的に取り入れたか。</p> <p>イ 体験学習や発表等を重視した科目編成や授業展開が図れたか。</p> <p>ウ 生徒会活動や部活動の参加率は向上したか。</p>	<p>ア 授業の中で、生徒の考えの論述や発表の機会を設けることにより、生徒の主体的な学習へとつなげることができた。</p> <p>イ 総合選択科目について、さらなる精査を実行し生徒のニーズにあった科目の導入を行った。</p> <p>ウ 体育祭・文化祭等の行事において、生徒会や実行委員会を中心に主体的に行事を行うことができた。また、部活動では、活動が活発になった部活動が複数あった。</p>	<p>ア 興味を持たせる授業展開と思考力を伸ばすような発問や課題の工夫に努める。</p> <p>イ 選択科目の必要度を正確に見分けながらニーズの高いものを多く展開できるように、条件整備を整える。</p> <p>ウ まだ一部の生徒が中心となっているので、全体の取組へと広げる工夫に努める。</p>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート等を参考に、引き続きより良い授業への改善を望みたい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学べる授業への改善を職員全体で取り組むことができた。 教育課程における総合選択科目について、検討を進め、生徒のニーズにあった科目の導入を実現した。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業評価アンケート等を参考に、具体的な授業改善方法を検討する。 選択科目の必要度を正確に見分け、ニーズの高いものを、少しでも多く展開できるように、条件整備を考える。
基本的生活習慣の確立を図るとともに、集団の中で他を理解する力を育成し、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな教育支援を行い、社会の一員として求められる能力を育みます。	<p>ア 家庭の理解と協力を得ながら、服装・頭髪・遅刻指導を行い、学校生活への取組姿勢と基本的生活習慣の確立を図る。</p> <p>イ 学校生活における様々な教育活動の中で、マナーやモラルの向上と規範意識の確立を目指とともに、他者理解や共生の意識の向上を図る。</p> <p>ウ 生徒相談体制の充実を図るとともに、情報の共有化に努め、適切で迅速な支援を行う。</p> <p>エ いじめの早期発見に努め、迅速に対応する。</p>	<p>ア 遅刻者数や頭髪指導件数等の生徒指導件数が減少したか。</p> <p>イ 情報モラルやマナーが身に付き、携帯電話等は適切に使用されているか。</p> <p>ウ ケース会議や年次会が有効に機能したか。</p> <p>エ いじめ対策等検討会議が有機的に機能したか。</p>	<p>ア 頭髪指導については、まだまだ改善が難しいが、遅刻その他の指導については、昨年度より件数を減少させることができた。</p> <p>イ 携帯電話等の情報モラル・マナーの指導に努めているが、なかなか改善が見られない。</p> <p>ウ 定期的な年次会を中心に生徒の状況を把握し、必要なところではケース会議において職員全体で情報を共有することができた。</p> <p>エ アンケート等を活用し、生徒との面談を通して大きな事態となる前に防ぐことができた。</p>	<p>ア 継続的な指導と保護者との連絡を密にし、粘り強く指導する。</p> <p>イ ルールやマナーを守ることの大切さを理解させ、継続的に指導する。</p> <p>ウ 職員間での情報交換を密にし、情報を共有するように努める。</p> <p>エ 生徒の小さな変化を見逃さずに職員間で情報を共有するよう努める。</p>	<p>(学校評議員)</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会では、卒業までに一般的なマナーを身につけることを求めているが、実際には、まだ不十分のところが見受けられる。重点的に指導を進めて欲しい。 以前と比べて、生徒のマナーは良くなっている。 携帯電話に関わるモラルやマナーについて、しっかり指導して欲しい。 <p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 遅刻指導に引き続き力を入れて欲しい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の確立に向けて取り組んできたが、まだまだ生徒の意識の向上が必要である。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員全体で、学校全体の現状に対する意識、危機感の向上を図り共通理解のもと取り組んでいく。

<p>入学年次を中心に、社会生活に必要な基礎学力の定着を図り、体験的かつ生徒の活動を重視した授業の展開及び効果的なガイダンスにより、将来の進路実現を見据え、意欲的に学習に取り組む姿勢・態度を育成します。</p>	<p>ア 学習意欲を向上させ、基礎学力を定着させるカリキュラム編成を検討する。 イ 生徒主体の授業実践のための組織的な授業研究・授業改善を推進する。 ウ 生徒の実態とニーズに即した選択科目の編成を図るとともに、科目ガイダンスの工夫を図り、生徒の進路実現に繋げる。</p>	<p>ア 授業等の教育活動全般について生徒の満足度を向上できたか。 イ 生徒主体の授業実践、組織的な授業研究・授業改善に取り組めたか。 ウ 科目ガイダンスや相談体制を整え、履修指導が十分に行われたか。生徒の進路実現率は向上したか。</p>	<p>ア 生徒の授業評価アンケートから、昨年度と比べ生徒の授業への満足度が向上した。 イ 生徒主体の授業実践をテーマとした校内での授業研究会を行い、授業改善に努めた。 ウ 科目ガイダンス、履修指導共に時間を十分にとり、行うことができた。また進路指導においては、特に就職で昨年度から大幅に内定数が増加した。</p>	<p>ア 満足度は上がったものの満足していない生徒も一定数おり、その生徒への満足度を上げていくように努める。 イ 引き続き生徒が主体的に学ぶ授業の実践へ向けて、授業内容や方法の工夫に努める。 ウ 引き続き生徒の実態とニーズを注視しながら、科目編成を図り、進路実現につなげていく。</p>	<p>(学校評議員) ・ 授業評価アンケート等で、取組の成果が現れているのは評価できる。 (保護者) ・ 基礎学力をしっかりと定着させて欲しい。</p>	<p>(学校評価) ・ すべての教科・科目で基礎学力の定着に向け、きめ細やかな授業展開に取り組んだ。 ・ 生徒の発言を引き出し、生徒主体の授業づくりに取り組んだ。 (改善方策等) ・ 繰り返しの学習を通じて、基礎基本の更なる定着を目指す。 ・ カリキュラム研修会等の場を利用して、授業改善の具体的な方法を身に付ける。</p>
<p>総合学科の特性を生かし、生徒の個性や適性を伸張り、生徒に望ましい職業観、勤労観を醸成するとともに、自己実現に向け、より実践的に自分の将来像を考える姿勢・能力を育成します。</p>	<p>ア ガイダンス科目を通して学習の基礎力を育成するとともに、生徒の個性や適性、コミュニケーション能力の育成を図る。 イ 科目選択では、自らの進路、特性、興味関心について深く考え自己理解を深める取り組みを行う。 ウ 将来設計を考えるに当たり、地域との積極的な交流を図りながら様々な情報収集や職業体験を通じ、職業理解能力の育成を図る。</p>	<p>ア ガイダンス科目を通じて、個性や適性の理解が進んだか。また、発表活動を通じてコミュニケーション能力が高まったか。 イ 自己に適した目標が設定できたか。 ウ 職業理解や職業観の育成が図れたか。</p>	<p>ア 学校外などでの体験活動から他者を理解する力を育成した。また、随所に発表する機会を設けて、コミュニケーション能力を高めることができた。 イ 科目選択ガイダンスに力を入れた結果、将来を見据えた科目選択をする生徒が多数いた。 ウ 事業所訪問、上級学校訪問、職業人インタビューなどで様々な職業や学校などに触れ、職業に対する理解を進めることができた。また、訪問先をいくつか新規で開拓することができた。</p>	<p>ア 生徒が主体的に体験活動に取り組むように、事前学習での動機付けを工夫する。 イ 科目選択と進路との関わりをより一層理解が進むよう工夫する。 ウ 引き続き校外での訪問先を開拓するなど、より一層校外での体験を充実させる。</p>	<p>(学校評議員) ・ 本校は、行動力やコミュニケーション能力に優れている生徒が多い。他者との触れ合いやプレゼンテーションの機会でもより高めて欲しい。</p>	<p>(学校評価) ・ ガイダンス科目における事業所訪問インタビュー、上級学校訪問などで様々な職業、学校や人に触れ、生徒の社会や職業への関心や進路への関心を深めることができた。 ・ グループ活動や発表などを通じて意欲的に取り組む姿勢・態度を育成した。 (改善方策等) ・ 様々な行事に主体的に取り組めるように、動機付けや意義を事前にしっかりと伝えていく。</p>
<p>地域との協働・連携や地域の教育力を生徒のキャリア形成に活用し、PTA活動や地域貢献活動を積極的に推進し、地域や保護者に信頼される開かれた学校づくりを進めます。</p>	<p>ア 家庭との連携を密にし、面談等を通して生徒状況の理解を深め、適切な学習支援・進路支援を行う。 イ 「産業社会と人間」「総合学習」「課題研究」において、地域や外部教育資源を積極的に活用し、キャリア育成を図る。 ウ 地域貢献活動やPTA活動を推進し、地域や保護者の学校に対する理解と信頼を深める。</p>	<p>ア 家庭との連携を密にした生徒指導が行われたか。 イ 外部の教育力が有効に活用できたか。 ウ PTA活動において保護者の参加率が増加したか。</p>	<p>ア 各担任から学校での様子をしっかりと保護者に伝え、要望や意見などにも親身に実感を傾けるよう努めた。 イ 人権学習、事業所訪問、上級学校訪問、職業人インタビューなどで様々な教育資源を活用し、生徒のキャリア育成をすることができた。 ウ 体育祭・文化祭などの行事にPTA役員やボランティアの協力を得ることができた。</p>	<p>ア 保護者への連絡が難しいことも多く、確実に連絡が取れるような体制作りが必要である。 イ 今後も積極的に外部の教育資源を活用する。 ウ PTAと教員との連絡を密にし、活動内容を整理し、活動しやすい環境を作る。</p>	<p>(学校評議員) ・ 地域と連携した様々な行事は本校の大きな特徴である。今後も地域の教育資源を大いに活用して欲しい。</p>	<p>(学校評価) ・ ガイダンス科目における事業所訪問インタビュー、上級学校訪問などで地域との連携を図りながら、生徒のキャリア形成を進めることができた。 (改善方策等) ・ 地域との新たな連携も視野に入れながら、地域の教育資源の活用をさらに進めていく。</p>

<p>地域と一体となった防災教育の推進や事故不祥事が起こらない学校運営体制の構築を図るとともに、様々な広報メディアを通じ、本校の教育活動への理解を深め、信頼に根ざした学校づくりを推進します。</p>	<p>ア 生徒の防災意識を高め安全対策を強化し地域と連携した防災体制に努める。</p> <p>イ 事故不祥事防止のために、適切な研修を実施するすとともに、業務マニュアル等の整備と活用に努め、共通理解に基づく円滑な学校運営を行う。</p> <p>ウ 学校説明会やホームページ、広報紙等を活用して、教育活動などの学校情報を積極的に発信していく。</p>	<p>ア 地域との連携した防災実践が図れたか。</p> <p>イ 組織的・計画的に研修が行われたか。事故不祥事が未然に防止できたか。</p> <p>ウ ホームページのアクセス数や学校説明会出席者数が増加したか。</p>	<p>ア 消防署と連携した防災訓練を実施すると共に、防災倉庫の整備を進めた。また、川崎市危機管理室の協力を得て防災意識の向上に努めた。</p> <p>イ 教務関係の事故を未然に防ぐため、点検の体制を強化した。また、会計研修を行い、適切な会計処理を行うよう努めた。</p> <p>ウ ホームページのアクセス数、学校説明会出席者数共に増加した。</p>	<p>ア 川崎市と地元の町内会、本校との連携が図れるよう体制を作る。</p> <p>イ 点検の体制や必要な書類の整備などを進めていく。</p> <p>ウ ホームページにおいては、より新鮮な情報を更新できるように努める。学校説明会においては、近隣の中学校への案内を積極的に進めていく。</p>	<p>(保護者)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に関して、地域との合同訓練等で連携を進めて欲しい。 	<p>(学校評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域と連携した防災訓練を行い、生徒の防災意識を高めることができた。 研修会や業務内容の整理を通じて、事故不祥事防止に取り組んだ。 <p>(改善方策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災に関わる地域との連携をさらに進める。 事故ゼロの状態を維持するために、職員全体が共通認識をもち、点検等を実施できるようにする。
---	--	---	--	---	--	---